



東北防衛局では、日米の相互理解を深める取組みとして、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和6年9月20日（金）、つがる市立車力小学校において「日米交流かかし作り交流プロジェクト in つがる2024」の表彰式を開催し、小学校の児童と米陸軍車力通信所の軍人等24名が参加し、交流を深めました。

同年7月8日に日米の参加者が混合5チームに分かれて制作したかかしは、つがる市内に展示され、人気投票が行われました。表彰式では、人気投票の結果によって選ばれた金賞、銀賞、銅賞、特別賞（車力通信所指揮官賞、車力小学校長賞）が発表され、参加者全員に賞状と記念品が授与されました。

金賞に輝いたチームの児童は「みんなで仲良く協力して金賞をとることができたので、とても嬉しい。」「米軍の人とコミュニケーションをとりながら、班のみんなとうまくかかしを作ることができた。」と話し、米軍人も「子供たちとの交流が楽しくていい思い出になった。表彰式で子供たちと再会でできてよかった。」と話しました。

車力小学校の佐々木綾子校長からは、「金賞をとることではなく、米軍の方たちと交流することが一番の目的で、今回それを達成することができた。金賞、銀賞などの賞はあるが、順位に関係なく自分たちのチームが1番だと思ってほしい。」とのお話がありました。

7月のかかし作りでは、最初はどこかぎこちなかった児童たちですが、かかし作りや表彰式を通じて米軍人と交流を深めると、表彰式が終わった後も会場の体育館に残って一緒にじゃんけんをしたり、はやりの日本語を教えたりするなど、積極的に交流する姿が見られました。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解の一助となるよう、今後も様々な形で活動してまいります。



主催者挨拶（榮森企画部次長）



金賞の授与



銀賞の授与



銅賞の授与



指揮官賞の授与



校長賞の授与



金賞受賞作品



集合写真



交流の様子



交流の様子